

RYLAセミナープログラムのねらいは、受講生に5つの特色を味わってもらうところにあります。

- ① 高いレベルの講義と討論
- ② キャビンタイム（親睦とその熟成）
- ③ 自由と自律
- ④ 余島の自然
- ⑤ カウンセラーシステム

恵まれた自然のなかでテーマに基づく講義、キャビンタイム、思索の時間、バズセッション、フォーラムなどを通して、学び、語り合い、考えていただきたいと思ひます。

●スケジュール

	5月21日(木)	5月22日(金)	5月23日(土)	5月24日(日)
7				
8		朝食	朝食	朝食
9				講義-3 講師 深川 純一氏
10		講義-1 講師 千代 豪昭氏	バズセッション	閉会式 記念植樹・撮影 昼食 感想文
11		昼食	昼食	
12		講義-2 講師 山口 徹氏	バズ集約	解散
13		集合		
14		開講式 オリエンテーション	思索の時間	フォーラム
15		キャビンタイム	レクリエーション	
16		オープニング パーティー	夕食	夕食
17		キャビンタイム	バズセッション	カウンスル ファイア
18		ロータリアンの夕べ	ロータリアンの夕べ	キャビンタイム
19				
20				
21				
22				
23				

募集要項

共に問い合おう！
課題を共有・追求しよう！
共に成長しよう！
意識改革に挑戦！

- 期 日：2015年5月21日(木)～24日(日)
- 場 所：神戸YMCA余島野外活動センター
香川県小豆郡土庄町字余島
TEL 0879-62-2241 FAX 0879-62-2240

- 参加資格：
 - 1) 国際ロータリー第2670地区(四国4県)、第2680地区(兵庫県)のロータリークラブから推薦を受けた満20歳以上(2015年5月21日現在)の男女
 - 2) 将来地域において中核的指導者を目指す人
 - 3) 青少年の指導経験のある人
 - 4) 将来、青少年の活動の指導を志す人
 ※但し、全期間受講可能なことが必須です。
なお、本セミナーの受講は計2回までとします。

- 集 合：5月21日(木)午後2時 現地
※昼食は済ませて集合してください。
- 解 散：5月24日(日)午後1時 現地
- 参加費：受 講 生 50,000円
(推薦クラブが負担しますので受講生の負担はありません。
交通費は受講生がご負担下さい。)

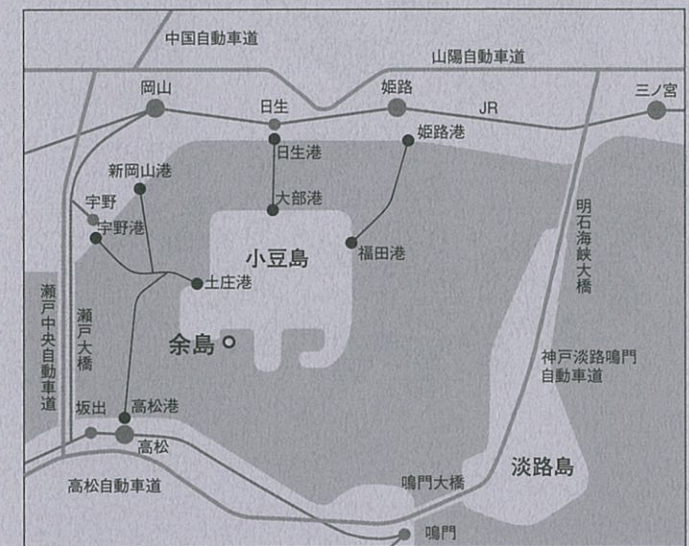
ロータリアン 登録料5,000円の外に
1泊(3食)につき15,000円、
もしくは日帰り10,000円を加算

- 申込方法：
 1. 推薦ロータリークラブが見あたらない場合は事務局がサポート・ロータリークラブを決定し、参加要綱とともにお知らせいたします。
 2. 各ロータリークラブは4月10日(金)までに各地区ガバナー事務所までお申し込みください。

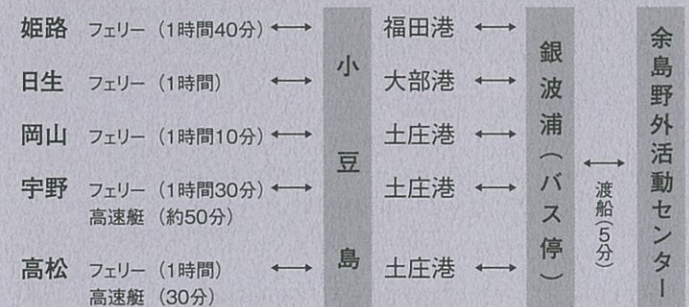
- 申込先：最終ページ(裏表紙)をご参照ください。

海と自然に囲まれた“余島”で語ろう！

オリーブの楽園“小豆島”を目の前にのぞむ小さな小さな“余島”。青い海と豊かな緑の中で、生涯にわたる学習、語学教育、国際理解教育、野外活動、健康教育、ボランティア活動を通じて青少年の人格向上とその精神・知性・身体との調和と発達を願ひ、愛と奉仕の生き方を分かち合うことを目的として1950年に開設された民間の非営利公益法人 神戸YMCAの施設です。



●余島への交通機関



千代 豪昭氏



■ 略歴
昭和46年大阪大学医学部卒。小児科医としての研修の後、臨床遺伝医としてのトレーニングを受け、遺伝学、臨床遺伝学の研究や臨床、教育に携わる。
神奈川子ども医療センター、兵庫医科大学、キール大学、金沢医科大学、大阪府環境保健部、大阪府立看護大学、お茶の水女子大学特設遺伝カウンセラーコースを歴任。現在は臨床胎児医学研究所にて遺伝性疾患の相談に携わる。
日本人類遺伝学会、日本遺伝カウンセリング学会、日本小児臨床遺伝学会などの評議員、理事を歴任

山口 徹氏



■ 略歴
昭和41年関西学院大学卒業。神戸YMCA(財団法人神戸キリスト教青年会)に奉職。
青少年活動を通じてのリーダー教育、社会教育などにかかわる。平成4年から神戸YMCA総理事、YMCA学園理事長、YMCA保育園理事長、YMCA顧問を歴任。現在も名誉主事としてYMCAを通じて青少年の教育に携わる。また兵庫県青少年本部、兵庫県青少年団体連絡協議会などでも要職を歴任。平成25年から兵庫県教育委員長を務める。

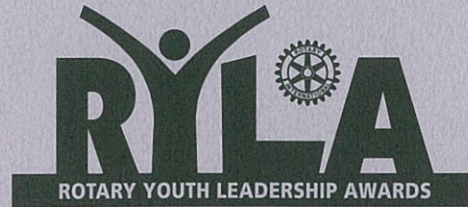
深川 純一氏



■ 略歴
伊丹ロータリークラブ会員
昭和27年関西学院大学法学部卒。弁護士(民事)
学校法人大阪学園理事長、社会福祉法人伊丹社会事業協会理事長を兼職する。1990-91年度RI第268地区(現2680地区)ガバナー、1992-93年度RI規定審議会代議員を勤める。その他、各地区大会RI会長代理6回、各地区大会記念講演講師、各地区大会パネリスト、各地区セミナー講師、各地区IM講師等々。

講師紹介

For Life, Family, Community, World, Future, Peace, Dream, Responsibility, Respect and Justice



第37回

RYLA Seminar

青少年指導者養成セミナー

RYLAは、1960年5月にオーストラリア・クイーンズランド州で発祥し、1971年に国際ロータリーによって正式に採用されたプログラムで、現在では、ロータリーのプログラムの中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの一つとなっています。

国際ロータリーの理事会は、以下を盛り込んだコアカリキュラム(中核となる科目)を推奨しています。

- ・リーダーシップの基本
- ・良きリーダーシップの倫理
- ・効果的なリーダーシップにおけるコミュニケーション・スキルの重要性
- ・問題解決と対立管理
- ・ロータリーとは何か、ロータリーは地域社会のために何を行っているか
- ・自信と自尊心の育成
- ・地域社会と国際社会の一員としての要素

Rotary



主催
国際ロータリー第2670・2680地区
RYLA運営委員会

テーマ：「いのち」

私たちは生を享けて、今、存在します。私たちの周りの生き物すべてが同じです。

私たちはもともと1個の細胞にすぎませんでした。細胞が分裂し、ある細胞が拍動をはじめ、それは心臓となります。またある細胞は脳へと分化し、知恵を司ります。そのように生命というものは、根源にさかのぼれば実に玄妙なものです。今、世界中の科学者は必死にその不可思議な仕組みを明らかにしようとしています。果たしてどこまで解明できるのでしょうか。しかし、生命の発生の仕組みを解明できたとしても、それで私たちの命はすべて明らかにされたと言えるのでしょうか。

一方で、私たちの周りの世界に目を向けると、日々、多くの命が失われている現実があります。生命は年月の経過によりいつかはその役割を終える道理ですが、そのような自然的な終わりばかりではなく、地震や津波のような自然災害や、あるいは戦争によって、無慈悲にも一方的に生命が失われることもあります。また、人の生命は地球より重いと言いながら、一瞬で多数の人の生命が奪われるテロ行為の報道などに接すると、生命のあまりの軽さに戦慄を覚えます。人と人が憎しみあうことはそれ自体悲しむべきことですが、他人の生命を奪うほどに憎しみが募るということはどういうことなのでしょうか。

このように私たちが生命について考えるとき、様々な視点が展開していきます。生命、それを「いのち」と呼び変えるとより柔らかく、温かい感じがします。私たちのいのちをどのように守るのか、どのように受け継いでいくのか、そのためには他の人のいのちにどのように向きあえばよいのか、今、ここで考えてみようではありませんか。

国際ロータリー第2670地区ガバナー 佐々木 善教

国際ロータリー第2680地区ガバナー 滝澤 功治

第37回RYLAセミナーへのお誘い